



↑西本願寺公式キャラクター『プトリ』と『プトラ』に集まる子供達。

令和6年11月23日、常高寺の門徒会館新築を祝う落慶法要並び、親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800年のお慶びの法要を執り行いました。

門徒会館新築記念の大法要！

常高寺だより

あまね



発行年月日 2024年12月5日
発行所 常高寺
今治市風平町4-1-13
TEL 0898-22-2264

→旗持ちを先頭に、稚児・僧侶が列を作り、雅楽の演奏に合わせ寺町を行進しました。
※次頁に続きます



常高寺 ホームページ
QRコード
常高寺の全ての情報がここに！
「今治常高寺」でご検索ください。

常高寺キャラクター紹介



- 趣味はご法話を聞くこと(たまに寝る)
愛用の袈裟懸け鞆で散歩するのも好き
牛乳好き
趣味は仏教語付きの服の収集
自称「きくぞう君の友達」。しかしその実体は…？
詳しくはウェアで



目次
2頁 記念法要ダイジェスト①
3頁 記念法要ダイジェスト②
4頁 記念法要ダイジェスト③
5頁 質問コーナー
6頁 活動報告
7頁 仏教学基本講座①
8頁 仏教学基本講座②
おしらせ

漫画 ブツダから親鸞へ
継職法要の際、編纂しお配りした、前任職 加藤泰憲の仏教漫画集。電子書籍にて好評発売中です。
加藤泰憲作品集
第二弾漫画集『聞提(せんたい)もぜひ！』詳細はホームページにて。

今月の掲示板のことは
いい人 いい雨 いい天気
みんな「私」中心
法語説明
QRコード
Illustration of a character at the bottom right.

会館新築
記念法要

寺町をグルリと
回り、常高寺に
到着！



→子供が沢山の境内



→本堂でのお勤め



↑ご満堂の本堂。皆で『らいはいの歌』をお勤めました。



↑お稚児さんと記念写真。本堂前階段に入り切らず二度に分けて撮影しました。

●午後の法要
午後からは音楽法要。多くの僧侶と参拝者の声の一つとなり、そこに雅楽の音加わって、とても荘厳な雰囲気となりました。ご門徒の皆さんからも「すごい迫力！」と感想を頂きました。



↑午後の音楽法要。お勤めは親鸞聖人750回忌の際に作られた『宗祖讃迎作法』。雅楽演奏が必須の中々レアな作法。大迫力でした。



→松山から来てくださった楽人さん。稚児行列の際も法要中も、ずっと吹き続け。本当にありがとうございました。



↑株式会社田中様(北九州市)



↑小林建工様(今治市)

門徒会館を建設して下さった工事関係者の皆さまの表彰式。豊富な経験と確かな技術で素晴らしい会館に仕上げて下さいました。本当に良いご縁に恵まれました。



↑白鳥先生によるご法話。温かな人柄が滲み出た、思わず微笑んでしまう、そんなご法話でした。

●午後の式典
音楽法要後の式典は、周防大島町 莊厳寺の白鳥文明さんのご法話から始まりました。七年ほど前に亡くなった義父(前住職)の友人。義父との学生時代のお話も聞け、とても温かなご法話でした。



←総代表挨拶



←総代表表彰



←婦人会会長挨拶



←世話人表彰

これまでお寺のためご尽力して下さった役員の方々の表彰式。これくらいでは感謝の気持ちを表し切れませんが、本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。そして役員の方々にお願いするのが伝わってくる、そんなご挨拶でした。ありがとうございます。



↑実行委員長表彰



●祝宴
夕方からは国際ホテルでの祝宴会。皆さんご歓談されていきました。



常高寺門徒会館新築記念祝賀会



↑門徒会館をバックに世話人、工事関係者の皆さんと。写っていない方もおられますが、本当に沢山の方のお世話になりました。ありがとうございました。

様々な方々の思いが結集して作られた門徒会館。皆さんと共にそのお慶びの法要をお勤め出来て本当に嬉しかったです。皆さまの門徒会館。今後ともにご活用ください。



私もブルーに住職として少々余興をほんの少しでも花を添えることが出来たのなら嬉しいです。



●後日談（NHKひめポン！にて）NHKひめポンさんが、この度の法要のことも含めお寺の活動を取材してくださいました。放送日は十一月二十八日。沢山の方から「見たよ」とのお声かけ。ありがとうございます。放送の様子はホームページにも載せていきますので、良ければご覧ください。

寺 Q&A

質問 「魂入れをしてほしいのですが？」

答え 他にも「開眼供養」「お性根入れ」など、様々な呼び方がされていますね。発想的にはダルマさんの目入れと似ているかもしれませんが。この儀式をすることにより、お仏壇の中心に置く仏さまが完成する、力を発揮する、といった考え方かと思えます。結論から言うと、浄土真宗にはこのような「魂入れ」の考え方はありません。仏教の説く「法」という真理。その色・形のない「法」が、私たちに歩み寄った姿が、浄土真宗のご本尊である阿弥陀さまであるとされます。真如（真理）の世界から来たものという意味合いで、阿弥陀如来とも称されていますね。人の営みを超えた「法」が自ら顕現したものであり、私たちの振る舞いに左右されるものではないという立場です。ただ、浄土真宗においては、ご本尊の軸や仏像をお迎える際「入仏法要」というお勤めをおこなうことがあります。「入仏」といっても魂を入れるという意味合いではありません。我が家の仏壇に阿弥陀さまが入ってくださったとお慶びする法要と考えていただければ良いかなと思います。同様の理由により「お魂抜き」や「お性根抜き」といった考え方もありませんが、古いお仏壇から新しいお仏壇にご本尊を移す際、これもお慶びのお勤めとして「遷仏法要」をすることはあります。

よくある質問コーナー

※このコーナーでは常高寺によく問い合わせのある質問にお答えしています。

【ご法座】

活動報告

今年も色々なことがありました。紙面の関係上、全ては載せきれず一部に掲載です。全容はホームページで確認できます。



令和6年1月 御正忌報恩講
能美顕之先生



令和5年12月31日 除夜の鐘



令和5年10月 秋永代経法座
藤本唯信先生



令和6年3月 春彼岸法座
岡原弘和先生



令和6年元旦 修正会(初参り)



令和5年11月 報恩講法座
当山住職



令和6年7月 秋彼岸法座
川上順之先生



令和6年7月
今治祖開催 慶讃法要
桂春蝶師落語会



令和6年4月 春永代経法座
中西昌弘先生



令和6年10月 秋永代経法座
北山祐章先生



令和6年7月 盆法座
喜多唯信先生



令和6年5月 花祭り 降誕会



刺繍教室



ヨガ教室



令和5年12月5日 NHK 『ひめポン!』
常高寺から生中継

【その他】



絵の教室



薬膳茶教室



令和6年8月4日 『もぎたてテレビ』
常高寺にて収録

仏教学
講座住職さんに聞くゾウ！
「空ってなんだゾウ？」（後編）

前後の話（※最新19話）はホームページでも確認出来ます。

●前話のあらすじ

- ・「空（くう）」は「縁起」「無常」「無我」の「法」をより明瞭にしたもの。
- ・「全てのものは因縁によって仮に組み合わさって存在しているのだから、不変の実体、本体の様なものは、なにものにも存在しない」
- ・2世紀〜3世紀頃のインドの高僧 ナーガルジュナ（漢名：龍樹）により大成、確立。
- ・物質的なものだけでなく、ものごとを抱く考えや価値観や判断も「空」であり、執着すべきものではない。
- ・「空」の思想をもう少し詳しく知りたい↑今回はここ！

「仏教は、僕たちの世界にあるものは『空（くう）』で、不変の実体がないって説くんだよね。」

「そうだね。」

「なんだか『空』って聞くとからっぽで、何も無いって言われているみたいで、すこし悲しくなるんだ。ぼくやぼくが大事にしているものも本当は無いってこと？？」

「なるほど。確かに『空』と聞くと、少しうつろな、もの悲しいイメージを持つ人もいるかもしれないね。実際、そのことで仏教をニヒリズム（虚無主義・全てのものに価値は無いとする考え方）と主張する人もいるし。よし、一緒に考えてみよう。」

「そもそも何で『空』って言葉をつかったんだらう？？」

人物紹介



常高寺の住職 毎年の
目標に「ダイエツト」
と書いて10年が過ぎた。



きぞう君、常高寺の公式キャラクター!
テレビで特集されて以来、何だか落ち着
かない日々を過ごしている。どきどき。

「うん、『空』は確かに中々強い表現だよ。様々なもの
に変わらぬ実体を求める人の性（さが）から離れなさい
というのが仏教の立場だから、あえて否定的な強い言葉が
使われているのかもしれないね。実際、『空』を主張した
龍樹菩薩（2〜3世紀頃）在世時、不変不滅の実体の存在
を主張する議論は、仏教内部においても盛んだったみたい
だし。ただこの言葉の表面だけを見て、仏教を虚無主義と
判断するのは早計かなと思うんだ。きぞう君、前回『色
即是空（しきそくぜくう）』について話したこと覚えて
る？」

「もちろんだゾウ！！『般若心経（はんにやしんぎよ
う）』のことばだね。『すがた・かたちのあるものは、無
常・無我であって、本質的には実体は無い』ってことだよ
ね？」

「そうだね。それじゃ、その後何てお経が続くか分か
る？」

「ええっと、確か『くーそくぜーしき』だゾウ。」

「うん『空即是色（くうそくぜしき）』。『空すなわち、
これ色なり』だね。」

「それなんだけど、『色（いろ形あるもの）』が『空』な
のはわかるんだ。でも『空』が『色（いろ形あるも
の）』ってどういうことだゾウ？」

「うん、実はこの2つはセットの教えだね。『色即是空』
だけでなく『空即是色』も合わせて考えないと、思想の全
体像が見えないんだ。まず『色即是空』なんだけど、これ
は不変の実体の存在が『有る』と執着することへの否定。
言うなれば『有』の否定だよ。」

「ええっと、この世界は様々な因縁のもと変化していくの
だから、変わらないもの、絶対的なものが『有る』という
執着から離れなさいってことだよ。」

「うん、そうだね。逆に『空即是色』はね、存在が『無い』ということへの否定。つまり『無』の否定を表わすことばなんだから。」

「どういうことだゾウ??」

「『空』は『仮和合（けわごう）』という言葉で説明されることであってね。確かに、この世に『独立した不変の実体』は無いと仏教は説くんだけど、では存在が『無い』のかというところで『様々な因縁がより集まり仮に合して、変化しながらも存在している』と、こう捉えるんだ。つまり『空即是色』は『空（実体が無い、つまり諸因縁が仮に和合した状態）』という状態で、色（いろの形）として現れている』という意味だね。」

「そうか。この世界にあるものや、今のボクは、色んなご縁が積み重なって『有る』んだもんね。『有る』と考えすぎてダメだし、『無い』と考えすぎてダメだってことかな?」

「うん、龍樹菩薩も『有無の二見を破す（有の見解と無の見解どちらからも離れよ）』と仰っているね。だから『空』はね、虚無的なものではなく、だからといって不変の存在を求める言葉でもない。事象を事象のまま真正面から捉える、そういうった姿勢を説いた言葉だと思うんだ。以前話した、存在のありのままを知り見る、『如実知見』（第五話参照）の境地だね。」

「なるほど、少し整理してみるゾウ! まず僕たちの世界には『法』という『ことわり』があって、全てのものは様々な因縁のもと移り変わるのだから、固定的な不変の実体は無いんだ。つまり『空』だね。だから『我』や『我が物』というのも本当は無いし、『苦・楽』や『善・悪』、『美・醜』という固定的な見方も存在しない。そういうったものに執着するって『苦しみ』が生まれるから離れなさいってことだね。一方で、確かに不変の固定的な実体は無いんだけど、この世界にあるものは、色んな縁が重なり合って存在しているんだ。だから『空（仮和合）』という状態で、存在している方からも離れる必要があるってことだね。」

「うん、そうだね。そういった『苦・楽』や『善・悪』、また『有・無』などの、偏った固定的な見解、両辺を離れる見方を、龍樹菩薩は『中観（ちゆうがん）』と呼ぶんだ。」

「両辺を離れるっていうのは、中心を取りなさいってことかな?? 端（はし）がだめなら真ん中みたいな??」



「それだと、今度は中心を取ること执着してしまうかな（笑）そうではなく、『一方に偏らない心を保つこと』。『偏ってはだめですよ、それは苦しみの元ですから』というのが仏教の立場だね。」

「なるほど。それが仏さまのものごとの見方なんだね!」

「そうだね。さて、これまでは、自分の都合という色眼鏡を外して、ものごとのありのままを見る、仏さまの『智慧』を中心にお話ししてきたわけだけだね。仏教の目指すところはこの『智慧』の獲得と、そしてもう一つ『慈悲』の実践であると言われているんだ。今回はこの『慈悲』について。一緒に考えよう。」

次回 第八話 「智慧と慈悲ってなんだゾウ?」に続く

おしらせ

行事予定 (令和七年度)

一月一日 (水)
修正会 (初参り)

一月十三日 (月) ~ 十四日 (火)
ご正忌報恩講法座 深水健司先生

三月十一日 (火) ~ 十二日 (水)
春季彼岸会法座 山本摂叡先生

三月二十四日 (月) ~ 二十五日 (火)
西本願寺念仏奉仕団 団体参拝

四月十四日 (月) ~ 十五日 (火)
春季永代経法座 浅野執持先生

五月十七日 (土)
降誕会・花祭り

七月二十一日 (月) ~ 二十二日 (火)
盆会法座 藤本唯信先生

九月十七日 (水) ~ 十八日 (木)
秋季彼岸会法座 岡原弘和先生

十月十六日 (木) ~ 十七日 (金)
秋季永代経法座 福岡義朝先生

十一月三十日 (日)
報恩講法座 当山住職

十二月三十一日 (水)
除夜の鐘



きんぎょ君を探せ！

紙面のどこかに次のきんぎょ君がいるよ！



『ひめポン!』
出演記念だゾウ



稚児衣装可愛いゾウ



真ん中を突っ切るゾウ



表彰状緊張するゾウ

おしらせ

・念仏奉仕団 (西本願寺団体参拝) のご案内

令和7年3月24日 (月) ~ 25日 (火) に、西本願寺念仏奉仕団を計画しております。一緒にお参りされる方募集中です。
念仏奉仕団とは、西本願寺に参拝し、本願寺ご住職 (ご門主) とのご面接・清掃奉仕・法話等を通して仏縁を深める行事です。常高寺も毎年お参りしていたのですが、コロナ禍もあり、本当に久しぶりの参拝となります。なんと6年ぶり! 清掃奉仕以外にちよっとした京都観光等も出来たらなと考えています。貴重なご縁。希望されます方はお早目にご連絡ください。

・常高寺ではご法座以外にも、様々な行事を開催しています。令和6年度は、**ヨガ、薬膳、刺繍、絵**などの教室を開いていただきました。親子で参加しやすい行事もありますよ。ホームページの『行事・イベント』のコーナーに随時掲載していきますので、よければチェックしてみてください。

編集後記

大きな法要を無事終えることが出来、とりあえずホッとしております。7年ほど前から始まりました門徒会館新築計画。ご門徒さまを始めとする関係各位の皆さまのご協力により、この晴れの目を迎えることが出来ました。本当にありがとうございます。経験豊富な建設会社の方々にも恵まれ、どんな用途にも対応できる素晴らしい施設になったと思います。皆さまのご協力により建った、皆さまの門徒会館。今後共に活用ください。

常高寺住職 加藤大地